

福井新聞

虫取り、川遊び、テント泊：

東日本大震災や福島原発事故の影響で満足に遊べない子どもたちに思いっきり野外で遊んでもらおうと、福井市のNPO法人自然体験共学センターは8月、福島県の児童を招き夏キャンプを開く。本県の子どもたちも参加し、一緒に夏休みの楽しい思い出を過ごしてもらおう。

同NPOは、年間を通し「キッズ」と連携。被災地の同市美山地区を拠点に自然 子どもたちを同NPO恒例体験活動を行っている。今夏の夏キャンプに招待する1回、福島県内外の自然体験 となった。活動団体が取り組んでいる。このほど、同NPOの辻、福島県外で自然体験す 一審理事長がキャンプ説明るプロジェクト「ふくしま会のために福島県を訪れ

被災児童

夏満喫を

市内NPO 来月40人招きキャンプ

た。街中には放射線の影響を懸念しマスクをする子どもたちがいたという。キャンプに参加する子どもたちからは「外で思いっきり遊びたい」「魚釣りがやりたい」などの要望があった。キャンプは8月6～12日(泊)と同13～27日(14泊)の2回。福島、郡山、いわき市などから小学1年～中学1年まで、それぞれ約20人ずつ計40人が訪れる。本県や関西方面からの子どもたちもキャンプ期

福井っ子も交流

間中、延べ200人が参加予定で、キャンプファイヤーや虫取り、川遊び、テント泊などを通して交流する。

同NPOは、キャンプ中に子どもたちをサポートしてくれるボランティアスタッフを募集している。また、子どもたちを無料で受け入れるため食費などキャンプ費用の支援金を呼び掛けている。問い合わせは同NPO 011-200776(9時)2013。